

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年5月25日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	日高市	代表者名	日高市長 谷ヶ崎 照雄
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	042-989-2111
担当者役職	主幹	担当者氏名	秋葉 基樹
住所	350-1292 埼玉県日高市南平沢1020		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	総合計画をはじめ主要な行政計画を読み込み、市勢および政策課題を整理したうえで、アドバイスをいただいた。また、担当者の悩みを感じ取り、目線を合わせて、課題解決に取り組んでいただいた。
アドバイザーへの要望事項	講演前に、資料のすり合わせをお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年5月21日	15時00分	16時30分		90
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	「全庁的なマネジメント体制が構築されておらず、自治体DXをけん引できる人材がいない」ため、庁内理解と意識改革を進める必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	DXが、従来のIT化やデジタル化とは異なることを全庁的に理解させ、政策レベルでデジタル技術及びデータの活用を進める機運を醸成し、持続可能な自治体経営を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	現状のヒアリングと達成目標を確認。自治体DXの概要と考え方を整理したほか、DX推進体制の構築と進め方について助言を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	研修の内容、ポイント等を整理することができた。具体例を含め、日高市の政策課題に合わせた内容で実施していただく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	日高市のDX推進力を高めるためには、部長級以外に課長級以下に向けた研修も必要とのアドバイスをいただいた。目的達成のためにも、追加研修の必要性について協議することとした。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	研修を経営層に実施することで、自治体DXの本質を政策面から理解していただき、自治体DX推進体制の構築を推進する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



打合せ ^

